

好きな数字は4

1986年にオープンし、来年で開館40周年を迎えるサントリーホール。音や雰囲気、ホールとしてのステイタスの高さは海外でも有名で、世界中の音楽家に知られています。そのサントリーホールの誕生日にあたる10月12日に「サントリーホール・シリーズ 第1シーズン Concerto〈以心伝心〉」の最終回が行われました。サブタイトルは四字熟語の〈以心伝心〉。4年間、4回のコンチエルト・リサイタルで、ご縁の深かった指揮者とオーケストラと、毎回コンチエルトを2曲ず

つ演奏したのですが、今回は私のデビュー40周年記念公演でもありました。私は数字が好きです。特に好きなのが「4」です。中学生の頃にはすでに4を好んで使っていて、「4に関わるものならラッキー!」と思う感覚がありました。さしたる理由はないけれど、なぜか好き。田舎育ちですから四季の自然の美しさに、「四喜」を感じていたのです。うか。

思えば私は、生活のリズムと密着している数字が好きなのです。

小山実稚恵 — 140

ピアノと私

公演情報

響きの森クラシック・シリーズ Vol.85

11月29日(土) 15:00
文京シビックホール大ホール
小林研一郎(指揮)
東京フィルハーモニー交響楽団
ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第5番《皇帝》
問い合わせ: シビックチケット
☎03-5803-1111

小山実稚恵の室内楽・新章 第3回

12月6日(土) 14:00 第一生命ホール
矢部達哉(ヴァイオリン)
川本嘉子(ヴィオラ)
宮田大(チェロ)

ブラームス: ヴィオラ・ソナタ第2番、ピアノ三重奏曲第3番、ピアノ四重奏曲第1番
問い合わせ: トリトンアーツ・チケットデスク
☎03-3532-5702

蘭島閣ギャラリーコンサート

300回記念公演
12月20日(土) 18:00 蘭島閣美術館
「ベートーヴェン後期三大ソナタ」
ピアノ・ソナタ第30番、ピアノ・ソナタ第31番、ピアノ・ソナタ第32番
問い合わせ: 蘭島文化振興財団事務局
☎0823-65-2029

2006年から2017年まで続けた12年間24回のリサイタル・シリーズ「音の旅」を企画した時もそうでした。1日は24時間。それは12時間×2。一年も12カ月。ピアノも1オクターブが12音。12音それぞれに長調と短調があるので、調性は24。12も24も日常の大切な数字であり、私の好きな4の倍数でもあります。生活のリズムに直結している数字。無意識下のなかの意識が、自分をこんなにも支配しているのかと不思議に思います。

話は戻りますが、今回の「以心伝心」コンサートのプログラムに、私のサントリーホールでの演奏が150回目の出演となることが書かれていました。本番前にプログラムを開いて初めてその事実を知ってビックリ。こんな不思議な偶然があるのかと驚き、ホールの方にお尋ねすると、スタッフの方が一つ

一つの演奏会を数えたら、ピッタリ150回目だったと分かったそうです。

あまりの不思議な偶然にワクワクしましたが、さらに今年はどう一つ、数字の偶然が重なりそうです。このエッセイでも書いたことのある広島県呉市の蘭島閣ギャラリーコンサートです。毎年12月に訪れ、ミカン狩りと共に心から楽しみにしているコンサートなのですが、今回のリサイタルが20回目の出演になります。さらには蘭島閣ギャラリーコンサートに記念すべき300回目のコンサートになるそうです。何も考えずに毎年12月に伺っているコンサートなのですね。

素敵な数の巡りあわせ。いったい何の力が働いて、こんな夢のようなことが重なるのでしょうか。12月の蘭島閣ギャラリーコンサートが待ちきれません。

KOYAMA MICHIE 東京藝大卒、同大学院修了。1982年チャイコフスキー国際コンクール第3位。85年ショパン国際ピアノコンクール第4位。「12年間・24回リサイタルシリーズ」(2006～17年)や「ベートーヴェン、そして…」(19～21年)は、その演奏と企画性で高い評価を受けた。2022年より、サントリーホール・シリーズ「Concerto〈以心伝心〉」を開催。来シーズンはソロ・リサイタルのシリーズを予定している。ショパン、チャイコフスキーの二大コンクールなどの審査員も務める。17年度紫綬褒章を受章。仙台での「こどもの夢ひろば」のゼネラル・プロデューサーを務める。